

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせた作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は、変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

【様式 1】

<p><エントリーシート></p> <p>※事務局記入欄</p> <p>No. : A - 28</p>	<p>部門 研修成果活用 (平成30年第1回 次世代リーダー育成研修)</p> <p>活動名 主タイトル (12文字以内) コラボレーションの視点 副タイトル (16文字以内) ~今あるものをつなぐ・むすぶ~</p>	<p>学校名・氏名 青森県十和田市立四和小学校 寺沢陵子</p>
<p>課題の設定： ※活動を行う前に、課題や目標をどのように設定しましたか？視点などを含めて記載してください。</p> <p>・小中併置校のメリットを考える機会が少なかった。ともに過ごすことでどのような相乗効果が生じるのか、考えるきっかけが必要。 ・多忙感から、じっくり時間をかけて業務を行うことができなかった。限られた時間の中でも、質の高いパフォーマンスが必要。</p>		
<p>方針・計画： ※課題を解決するために仮説を立てて、活動内容を組み立てたのか、記載してください。</p> <p>・今あるもの(行事や活動等)をつないだり結んだりするコラボレーションの視点をもつことで、限られた時間の中でも質の高いパフォーマンスをすることができ、多忙感から充実感を得ることができるのではないかと考えた。 ・そこで、喫緊の大きな行事(10月28日小中合同文化祭と11月6日十和田市日本一事業交流発表会)の内容を同一のものになるよう組み立て、どちらのねらいも同時に達成できるよう工夫することにした。(図1)</p>		
<p>活動内容： ※方針・計画に基づいてどのような活動を行ったか、また、複数の活動を展開した場合はその位置づけや関連性を記載してください</p> <p>8月30日…十和田市日本一事業交流発表会があることを学級児童に知らせ、その発表内容をみんなで考える。本校は「こころの輝き日本一～小中なかよしNo.1～」を目標に掲げている。 9月14日…家庭学習で小中併置のメリットや小中一緒に活動している内容等踏まえ、両発表のねらいを達成できる台本作りを全員で開始。(写真1) 10月2日…プロジェクトメンバーを募り、劇の台本を熟考。全員のアイデアを盛り込んだ内容に仕上げる。 10月11日…劇の練習開始。 10月28日…小中合同文化祭で「僕たち小中なかよしNo.1」の発表と振り返り。(写真2・3) 11月6日…十和田市日本一事業交流発表会で「僕たち小中なかよしNo.1」を発表。(写真4) 11月7日…これまでの振り返り(写真5)</p>		
<p>活動の成果： ※課題や目標に対し、どんな影響、変化あったか、職員や参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。</p> <p>・発表を通して児童自身が小中併置のメリットを深く実感し、よりいっそう自校に対して愛着をもつことができた。 ・全校児童生徒、保護者、地域の方々、市内全体に、これまで当たり前のように感じていた小中併置の良さを改めて実感してもらうことができた。(写真6) ・二つの行事のねらいを一つにまとめるというコラボレーションの視点をもつことで、時間短縮につながっただけでなく精神的余裕が生じ、「しなければいけない」という義務的思考から「したい！」という主体的思考をもつことができた。よって、限られた時間の中でも教師・児童ともに納得がいく充実感のあるパフォーマンスをすることができた。</p>		
<p>アピールポイント(アイデアや工夫)： ※3～5つ程度の箇条書きしてください</p> <p>・コラボレーションの視点をもつことによって、準備や練習にかかる時間を減少することができる。 ・教師が多忙感を感じていると児童にも悪影響を及ぼすが、精神的余裕が生じることで良い循環となり得る。 ・今回は行事×行事だったが、小学校体育×中学校体育、子ども×地域課題、給食×起業家、学校×NPOなど考えられる“今あるものをつなぐ・むすぶ”は限りなくあり、その効果も大きい。</p>		

図1：「コラボレーションの視点」について

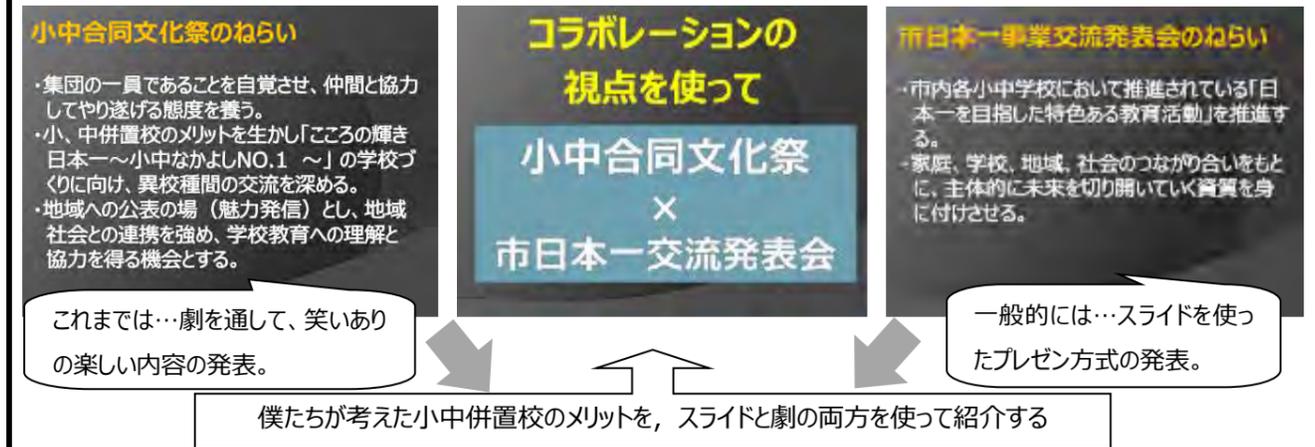


写真1～6：実際の活動の様子について

<p>写真1</p>	<p>写真2</p>	<p>写真3</p>
<p>考えてきたアイデアをもとに台詞や構成を練り上げる。</p>	<p>小学生、中学生、保護者、地域の方々の前で笑顔で発表。</p>	<p>児童の振り返り。小中併置校のメリットを発表し、「小中なかよし」を再確認。</p>
<p>写真4</p>	<p>写真5</p>	<p>写真6</p>
<p>東奥日報(11月8日付)にて、児童の発表内容が紹介される。</p>	<p>児童の振り返り。「四和のなかよしをたくさんの人に聞いてもらえて嬉しかった」</p>	<p>校長室だより、保護者の感想、中学生からのメッセージ。</p>